

Library News



京教図書館 News

2008

8

私のすすめるこの1冊・・・ 榊原 典子(家政科 教授)

小松 義夫 著

『ぼくの家は「世界遺産」』

夏休みを迎えて、大学生の皆さんは、長い休暇を利用して、普段できないことに挑戦しようという計画されていることと思う。その中でも、見聞を広める国内外への旅は、今も昔も多くの大学生がやりたいことの代表としてあげるものといっていであろう。この本は、世界中を旅した写真家による紀行文であるが、いろいろな国や地域の「家」をとりあげて、その中に展開される人々のくらしやそれを形作ってきた風土を豊富な写真とともに紹介している。

掲載されている国や地域は、オーストリア、スロヴェニア、ベネズエラ、ルーマニア、アルジェリア、ナイジェリア、ネパール、インドネシア、アメリカ先住民の地などで、先進国の生活から遠い地での住まいである。ユネスコ（国際連合教育・科学・文化機関）に登録されている正真正銘の世界遺産であるイタリア・マテーラの洞窟住居群でもなければ、スペインの建築家ガウディが建てたカサ・ミラでもない。また今年、世界遺産に登録されることが決まった中国客家（はっか）の円形住居でもない。あげられている「家」は、歴史的・文化的価値としては正統派の世界遺産に匹敵はしないまでも、その土地で採れる建築材と受け継いできた建築技術や土着の生活文化を反映した住まいであり、現在でもなおメディアによる紹介が少ないものである。

1999年に発行された、同じ著者の『地球生活記』は副題が示すとおり、世界の多様な家々を収めた写真集であるが、その像を通して感動的なまでにその中に暮らす人々の生活実感が迫ってくる、一見の価値あるものである。ここで紹介した本は、その後、著者が旅した中でみてきた「家」が掲載されているが、著者が旅歩いて見聞きした事柄を紡ぎ、世界史の一端を立体的に捉えるくだりは歴史を旅しているような気分にもさせられる。一方、近年急速に変化する世界経済や地球環境など、全世界を巻き込む近代化の波に警鐘をならしている姿勢は全編に感じられる。世界地図を片手に、願わくば、各土地の気候風土や歴史、生活文化と抱き合わせて読み深めることができるとなおよいであろう。

本来、旅は実際に体験してこそ、直に得るものは大きいし、感動も大である。しかし、なかなか世界を旅することは難しい。そのような時に、手軽に読める本書はおすすめである。

『ぼくの家は「世界遺産」』 著者：小松 義夫

発行所：白水社 出版年：2007年11月 定価：1500円＋税

ISBN 978-4-560-03172-8 購入手続中

『地球生活記－世界ぐるりと家めぐり』 著者：小松 義夫

発行所：福音館書店 出版年：1999年6月 定価：5000円＋税

ISBN 978-4-8340-1620-8 購入手続中

■ 図書館からのニュース

1. 夏季休業に伴う長期貸出について

下記のとおり長期貸出をしますので、ご利用ください。

対 象	院生・教職員	学部生
貸出期間	7月7日(月)～9月4日(木)	7月22日(火)～9月19日(金)
貸出冊数	10冊	5冊
返却期日	10月3日(金)	

* 視聴覚資料は除きます。

* 長期貸出図書については、貸出の延長はできません。一度返却してから翌日以降貸出の手続きをとってください。

* 一般利用者の方の長期貸出はできません。

2. 企画展「京教の源氏物語－源氏読本のうつりかわり－」について

附属図書館では、下記の日程で国文学科宗雪教授の監修の下、企画展を開催しています。附属図書館所蔵の江戸時代に書かれた註釈書「萬水一露」や「湖月抄」、また現代語訳本の与謝野晶子「新訳源氏物語」や谷崎潤一郎「源氏物語」などを展示しています。また、教科書教材として戦前の小学校や中学校（師範学校）及び戦後の高校の教科書に登場する「源氏物語」なども合わせて展示しています。

さらに、「源氏物語」や「紫式部」に関連する図書を一箇所に集め、「源氏物語コーナー」を併設しましたので、『源氏物語』に親しんでもらえれば幸いです。

この展示会をご覧頂いた方には、「京教の源氏物語」展オリジナルしおりをプレゼントしています。（数量限定）カウンターに申し出てください。

この企画展は「源氏物語千年紀委員会」の後援を頂いています。

期間： 平成20年7月1日（火）～8月9日（土）（日曜休館）

時間： 10時～16時

場所： 京都教育大学附属図書館1階ロビー
入場無料

3. 一斉休業による図書館休館について

8月13日（水）～15日（金）にかけて全学一斉休業となり、土、日の休館日と合わせると13日（水）～17日（日）まで休館となります。この全学一斉休業は、地球温暖化防止、省エネルギー化実現及び管理的経費の抑制に向けての取り組みのため、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

■ 論のくちび理のむすび・・・武島良成(社会科学科 准教授)

「中学校の歴史教科書で使用する写真に関する一考察

－第一次世界大戦から太平洋戦争まで－

武島良成：京都教育大学紀要 No.112：pp.53-67

中学校の歴史教科書は、原則的に見開き2ページが1回の授業に対応しています。その2ページに織り込まれる写真や地図は、スペースの関係から数点に絞らざるを得ません。そして、付される写真は、本土爆撃について1枚、沖縄戦について1枚、原爆について1枚というように割り当てられます。考えてみると、その1枚1枚はかなり重要なものであり、漫然と選ぶべきではないことになります。

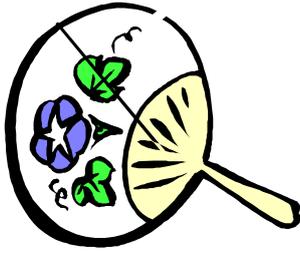
そんなことを意識しながら教科書を見ていくと、「なぜこの写真なのか」とか、「もっと良い写真があるのに」と思うことが多々あります。例えば二・二六事件について、帝国議会（国会）議事堂前に小さな人影が写っている写真などは、何をしているところなのかよくわかりません。反乱部隊を撮影した「決死的」写真が何枚か残っているのに、なぜそれを使わないのかと誤ってしまいます。また、たくさん使われている著名人の顔写真も、どうせなら単に顔がわかるという以上のものに置き換えられないかと思えます。

武島は個人ホームページで紹介するために、明治期から1956年頃までに刊行されてきた写真雑誌を多数集めてきました。1956年というのは、著作権の問題を乗り越えるための1つの区切りです。この論文は、それらに載っている写真から、教科書に載せてはどうかと考えたものを選んでみたものです。

もちろん、1956年より後に発見・紹介された写真の中にも、より適切であり、是非教科書に載せるべきだと思う写真が色々とあります。例えば、第一次世界大戦時のフランス軍を撮影したカラー写真が、日本では半年ほど前に紹介・出版されました。教科書も折角カラーになったのですから、これなども是非載せてほしいと思います。みなさんも、「これを載せてはどうか」というものを探してみてください。

全文は図書館HP「京都教育大学紀要」で、ご覧いただけます。

■ 図書館開館スケジュール



(通 常)

開館時間 : 9:00

閉館時間 : 21:00

一部期間は 17:00 に閉館します

下記カレンダー「~17:00」と記載

8

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
					1	2 ~17:00
3 休館	4	5 ~17:00	6 整 休館	7 ~17:00	8 ~17:00	9 休館
10 休館	11 ~17:00	12 ~17:00	13 休館	14 休館	15 休館	16 休館
17 休館	18 ~17:00	19 ~17:00	20 ~17:00	21 ~17:00	22 ~17:00	23 休館
24 休館	25 ~17:00	26 ~17:00	27 ~17:00	28 ~17:00	29 ~17:00	30 休館
31 休館						

8月6日(水)は館内整理のため休館します。
 8月13日(水)から15日(金)は本学一斉休業期間のため休館します。
 8月5日(火)から9月末までは、夏季休業のため17時で閉館となります。

9

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
	1	2	3 整 休館	4	5	6 ~17:00
7 休館	8	9	10	11	12	13 ~17:00
14 休館	15 休館	16	17	18	19	20 ~17:00
21 休館	22	23 休館	24	25	26	27 ~17:00
28 休館	29	30 整 休館				

9月3日(水)は館内整理のため休館します。
 9月15日(月)は祝日のため休館します。
 9月23日(火)は祝日のため休館します。
 9月30日(火)は館内整理のため休館します。

京教図書館 News No. 95 2008年8月号
 編集発行：京都教育大学附属図書館
 発行日：平成20年8月1日
 内容に関するお問い合わせ先：
 附属図書館(内線8176)